

平成 27 年度

(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)

西東京市環境白書

環境活動レポート



平成28年12月
西東京市

目次

1 環境白書・環境活動レポートについて.....	1
1-1 環境白書・環境活動レポートの役割.....	1
1-2 環境白書・環境活動レポートの構成.....	1
2.関係計画とエコアクション21 について.....	2
3.環境方針.....	3
4.推進体制.....	4
5.西東京市の概要.....	5
6.西東京市第2次環境基本計画の取組状況.....	7
基本方針1.....	7
基本方針2.....	8
基本方針3.....	9
基本方針4.....	10
基本方針5.....	11
7.市の事務事業による温室効果ガス削減の取り組み.....	14
7-1 エネルギーに関する取組状況.....	14
7-2 各課の環境活動.....	18
◎市の業務での環境負荷の低減の取り組み.....	18
◎地域への環境の保全・創造の取り組み.....	19
7-3 職員研修.....	26
7-4 環境コミュニケーション.....	26
7-5 環境法規制等の遵守状況.....	27
7-6 市長による全体評価及び見直し.....	28

環境白書

環境活動レポート



西東京市マスコットキャラクター

いこいな ©シンエイ/西東京市

自然と生き物のふれあいを守る森の妖精です。

西東京いこいの森公園でみどりや生き物を育てるお手伝いをしています。

1. 環境白書・環境活動レポートについて

1-1 環境白書・環境活動レポートの役割

西東京市環境白書・環境活動レポートは、平成27年度1年間の西東京市役所の環境の取組をまとめたもので、次の3つの役割を果たします。

- ☆ 「西東京市第2次環境基本計画」の進捗状況の点検・評価
- ☆ 西東京市の環境の現状や市が実施している環境に関する施策などの周知
- ☆ 環境活動レポートとして、市の環境活動の取組状況の報告

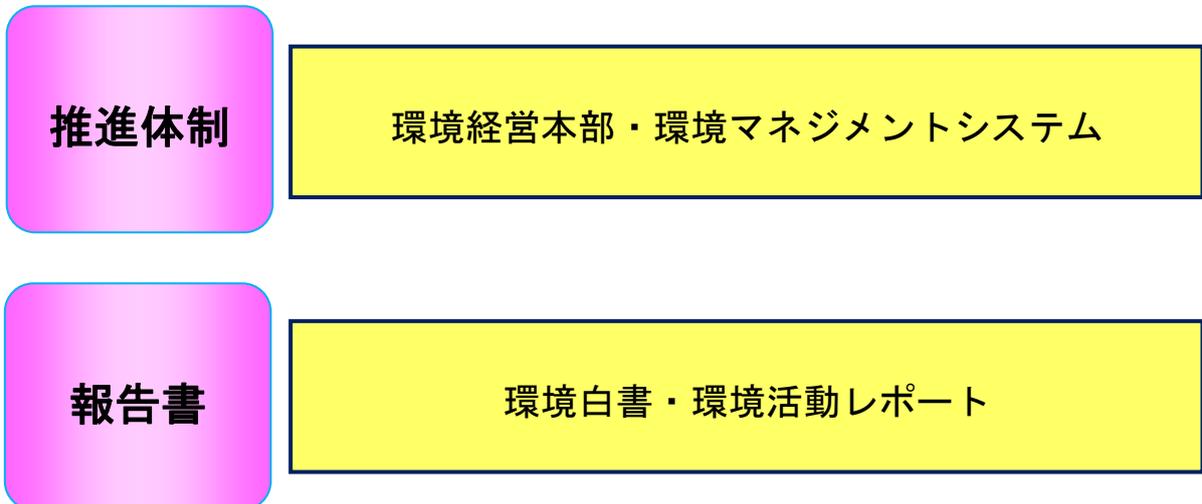
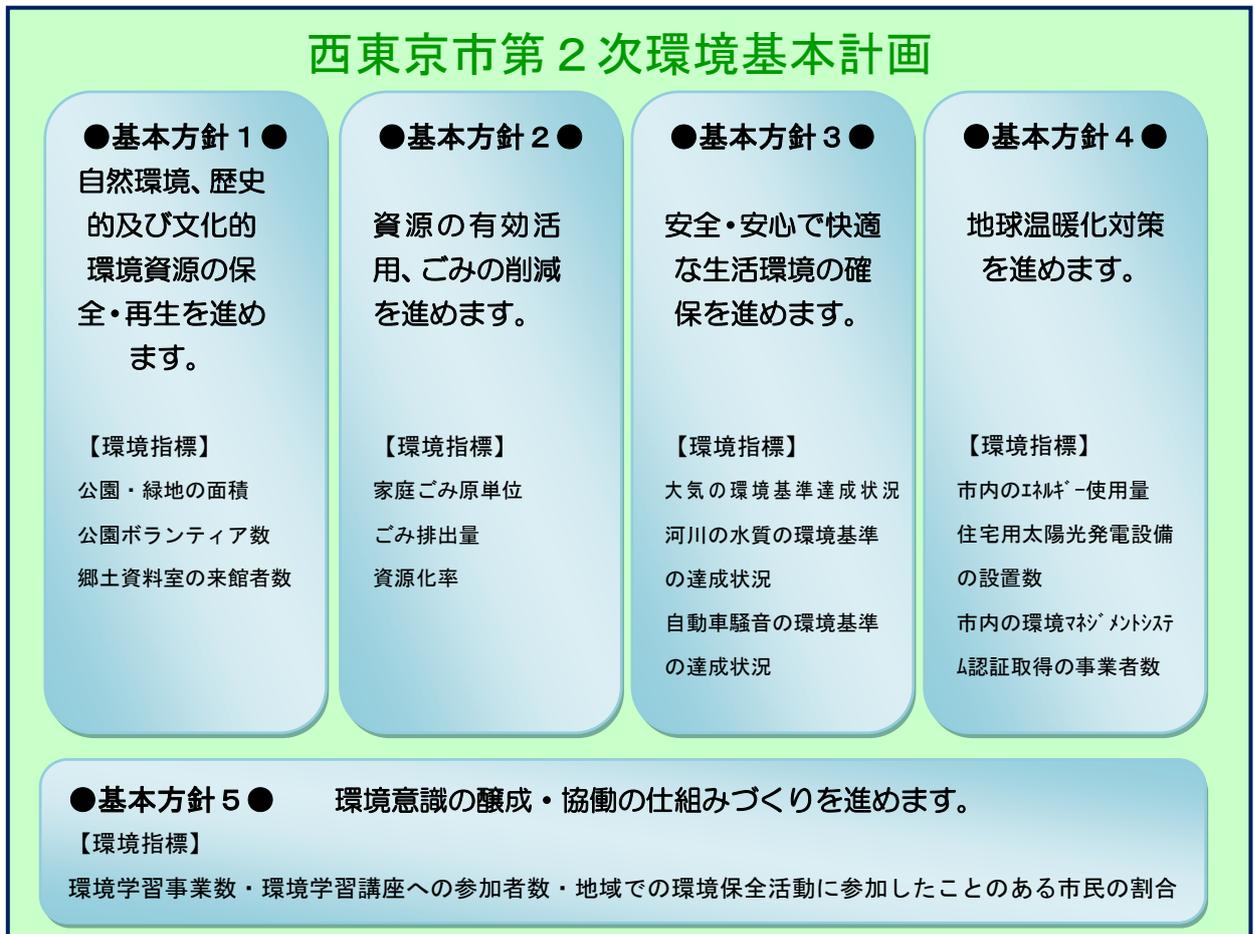
環境白書は、「西東京市第2次環境基本計画」に基づく取組状況や環境指標に対する目標の達成状況を点検・評価します。また、西東京市の環境の状況や施策・事業の取組状況を把握し、報告します。平成26年3月に策定した「西東京市第2次環境基本計画」は、「西東京市環境基本条例」に基づいて市の環境の保全に関して長期的な目標を定めた「西東京市環境基本計画」（平成16年3月）、「西東京市環境基本計画（後期計画）」（平成21年3月）をふまえて、社会経済情勢の変化や環境行政をとりまく環境の変化に対応させた計画です。第2次環境基本計画では、西東京市のめざす環境の将来像を「自然とのふれあいを皆で大切に育む、すごしやすい安心なまち」とし、5つの基本方針とそれらを実現するための指標や取り組みの方向を設定しています。

また、西東京市では「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成28年3月に「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（後期計画）」を策定しました。今回の計画により、平成28年度からは市のすべての事務事業を対象範囲として、省エネ及び温室効果ガス削減に向けた取り組みを行うこととなります。なお、この計画を推進するために、エネルギー起源二酸化炭素の管理（カーボンマネジメント）を強化していきます。

1-2 環境白書・環境活動レポートの構成

前半は、「西東京市第2次環境基本計画」の環境指標に対する達成状況をまとめた環境白書であり、後半は、エコアクション21（市の事務事業から排出される温室効果ガス削減）の取組をまとめた環境活動レポートとなっています。

2.関係計画とエコアクション21について



3.環境方針

西東京市環境方針

1 基本理念

西東京市は、縄文時代の集落跡や、農地、屋敷林、雑木林に代表される武蔵野の景観など、先人が創り上げた豊かな環境を受け継いできました。

しかし、首都近郊という立地特性から都市化が進み、物質的豊かさや利便性の高さを求める資源やエネルギーを大量に消費する生活が中心になり、西東京市においても、身近な環境問題から地球規模の環境問題に至る多種多様な環境問題が顕在化しています。

西東京市役所（以下「市」という。）は、市内の事業所のひとつとして「西東京市環境基本条例」「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」及び「西東京市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、良好な環境を将来の世代に引き継ぐため、再生可能エネルギーを積極的に導入するなど、限りある資源を有効に活用し、身近な環境問題から地球規模の環境問題の改善に継続的に取り組み、多様な生物が共生した持続可能な低炭素社会の構築に努めます。

2 基本方針

基本理念に基づき、環境に関する合意事項及び法規制を遵守し、西東京市環境マネジメントシステムにより環境活動計画を定め、次の項目に取り組みます。

(1)環境に配慮した事務・事業を推進します。

- ①省資源、省エネルギー、廃棄物の減量及びリサイクルなどを推進し、市が排出する温室効果ガスの発生抑制に努めます。
- ②公共施設における再生可能エネルギー機器の導入を推進します。
- ③公共工事、委託業務における環境負荷の低減に努めます。
- ④グリーン購入を推進します。
- ⑤その他、市が行う事務・事業の環境負荷の低減に努めます。

(2)環境に関する様々な情報を発信するとともに、環境学習を推進し、市民に対する環境意識の高揚を図ります。

(3)環境白書（環境活動レポート）を作成し、市の活動内容を公表します。

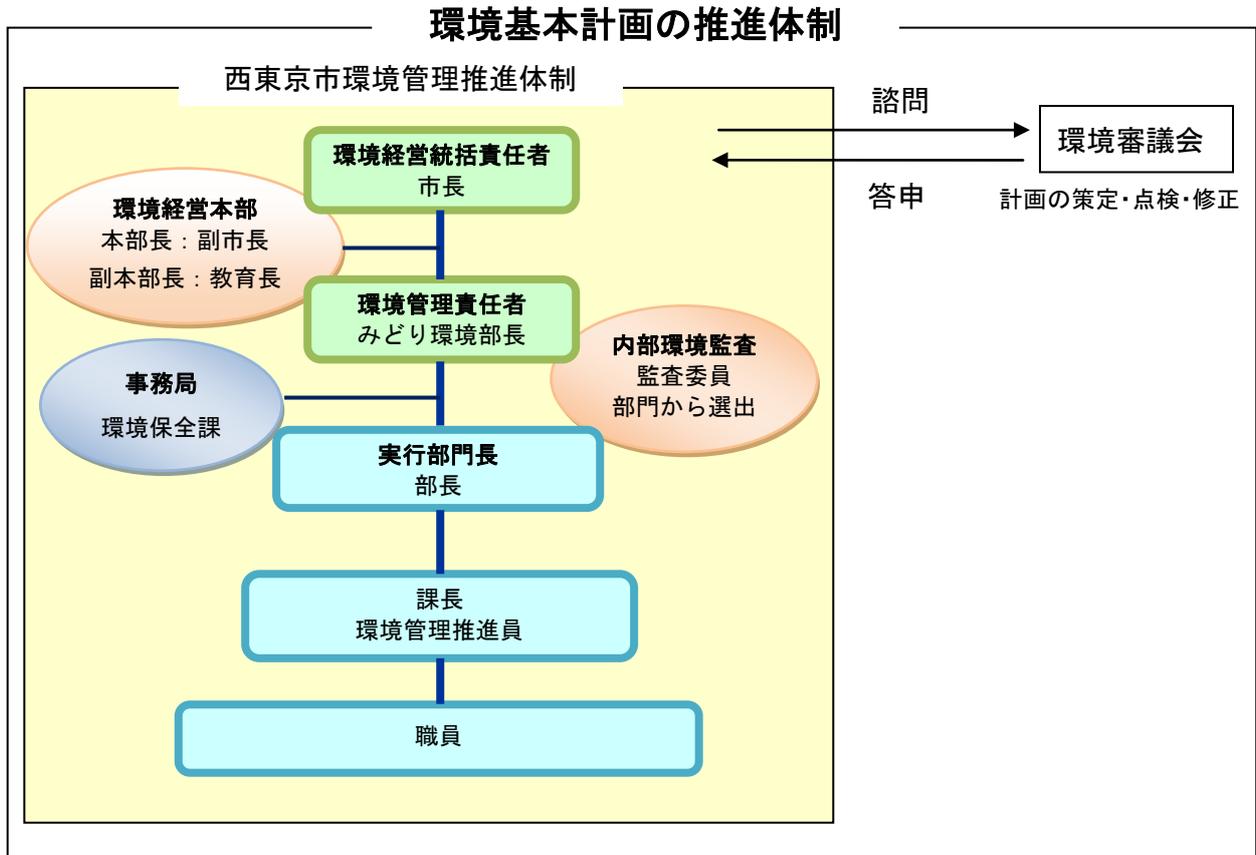
(4)市の環境状況を把握するため、各種環境測定や監視を継続し、公表します。

(5)職員の環境保全に対する意識の向上を図るため、教育・訓練を行います。

平成25年9月1日

西東京市長 丸山 浩一

4.推進体制



【環境マネジメントシステム対象組織】

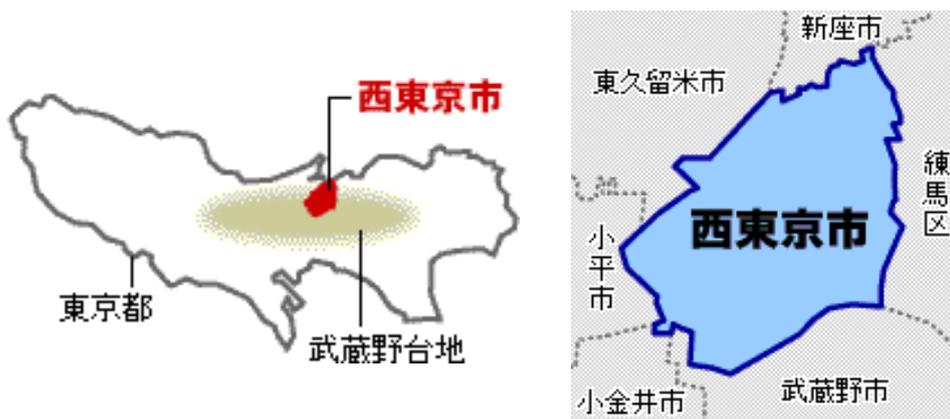
全組織が対象範囲となります。

部	課・施設
企画部	企画政策課・財政課・秘書広報課・情報推進課
総務部	総務法規課・管財課・職員課・建築営繕課・契約課
危機管理室	
市民部	市民課・保険年金課・健康課・市民税課・資産税課・納税課
福祉部	生活福祉課・高齢者支援課・障害福祉課
子育て支援部	子育て支援課・保育課・児童青少年課・子ども家庭支援センター・保育園・児童館
生活文化スポーツ部	文化振興課・スポーツ振興課・産業振興課・協働コミュニティ課
みどり環境部	みどり公園課・環境保全課・ごみ減量推進課
都市整備部	都市計画課・用地課・道路建設課・道路管理課・下水道課
会計	会計課
議会事務局	
教育委員会 教育部	教育企画課・学校運営課・教育指導課・教育支援課・社会教育課・公民館・図書館・市立小中学校
選挙管理委員会事務局	
監査委員事務局	

※平成27年度現在の組織名称

5.西東京市の概要

西東京市は、東京都区部の西部地域に隣接し、武蔵野台地のほぼ中央に位置しています。都心から約20kmで、西武新宿線と西武池袋線で都心と結ばれ、市内には5つの駅（田無駅・ひばりヶ丘駅・保谷駅・西武柳沢駅・東伏見駅）があります。都心部とのアクセスが非常に良く、住宅都市として発展してきています。市内の各所に雑木林・屋敷林・農地がみられ、武蔵野の面影が残されています。



《西東京市の概況》

面積	15.75km ²
人口・世帯数	198,357人 92,877世帯(平成27年4月1日現在)

《事業所の概況》

自治体名	西東京市
代表者	市長 丸山 浩一
所在地	東京都西東京市南町五丁目6番13号
平成26年度当初予算額(一般会計)	76,271,000千円
職員数	919人(平成27年4月1日現在)
環境管理責任者	みどり環境部長 松川 聡

《事業活動の内容》

一般行政事務、保育、教育など市民の日常生活に密接に関係する様々な行政サービスの提供。

《環境に関するこれまでの取組》

	環境マネジメントシステムの取組	その他の取組
平成14年4月		環境基本条例制定
平成15年10月	ISO14001 認証取得	
平成16年3月		環境基本計画策定 地球温暖化対策実行計画（前期実行計画）策定
平成18年5月	学生参加による内部監査の実施	
平成18年10月	ISO14001 更新	
平成20年3月		地球温暖化対策実行計画（後期実行計画） 環境配慮行動の指針 環境学習基本方針策定
平成20年8月	エコアクション21 運用開始	
平成21年3月		環境基本計画改定
平成21年4月	エコアクション21 認証取得	
平成22年3月		地球温暖化対策地域推進計画策定
平成22年6月	環境方針改訂	
平成23年3月	エコアクション21 更新	第二次地球温暖化対策実行計画策定
平成25年3月	エコアクション21 更新	
平成25年9月	環境方針改訂	
平成26年3月		第2次環境基本計画策定
平成27年3月	エコアクション21 更新	
平成28年3月		第二次地球温暖化対策実行計画 （後期実行計画）

市の木・市の花



「市の木・市の花」は、緑と自然を行政と市民が一緒になって、守り、育て、潤いある街づくりを目指すためのシンボルとして指定されました。

市の木には、市のシンボルとしてふさわしく武蔵野台地の象徴とも言える「けやき」と、自然を守り、育てるイメージとして「はなみずき」を指定しました。市の花には、「つつじ」「ひまわり」「コスモス」「すいせん」と四季折々の4つを指定しました。四季それぞれの花を指定することは、全国的にも珍しいことです。

6.西東京市第2次環境基本計画の取組状況

基本方針1

自然環境、歴史的及び文化的環境資源の保全・再生を進めます

みどりの保全と再生や生物多様性の保全に取り組むとともに、生命に満ちあふれた自然環境を育てるために、生物多様性の保全に取り組み、自然とふれあうことができ、みどりあふれる西東京市を目指します。

また、下野谷遺跡や社寺等の歴史的及び文化的環境資源とともに守られた貴重な自然環境も将来世代へ引き継いでいくよう努めます。

環境指標	平成35年度 目標	平成27年度 実績	前年度比	平成26年度 実績	担当課
公園・緑地の 面積	255,132 m ²	247,918 m ²	▲2,288 m ² ▲0.9%	250,206 m ²	みどり公園課
公園 ボランティア 数	850 人	896 人	▲23 人 ▲2.6%	873 人	みどり公園課
郷土資料室の 来館者数	3,000 人	2,799 人	▲210 人 ▲7.5%	2,589 人	社会教育課

平成27年度は、1公園、7緑地を設置し、前年度よりも公園・緑地の面積が増加しましたが、借地公園の返還があったため、結果的に減少となりました。

公園ボランティアは、市内254か所の公園・緑地のうち70か所について、除草や清掃等の協力を得ています。

郷土資料室では、西東京市から出土した遺物や近代の民具や道具、郷土の歴史ジオラマなどの資料を5つの展示室で展示しています。



基本方針2

資源の有効活用、ごみの削減を進めます

環境への負荷の軽減と資源の有効利用を進めるために、3Rやごみの適正処理を市民・事業者・行政が一体となって推進し、環境負荷の少ない資源循環型社会の構築を目指します。

環境指標	平成33年度 目標※ ¹	平成27年度 実績	前年度比	平成26年度 実績	担当課
家庭ごみ原 単位※ ²	347g/人・日	371g/人・日	▲4g/人・日 ▲1.1%	375g/人・日	ごみ減量 推進課
ごみ 排出量※ ³	31,053t/年	33,926t/年	▲621t/年 ▲1.8%	34,547t/年	ごみ減量 推進課
資源化率※ ⁴	37.1%	33.8%	0.3%	33.5%	ごみ減量 推進課

※1 西東京市一般廃棄物処理基本計画：平成24年3月策定：計画期間 平成24年度～平成33年度

※2 家庭から排出される、1人1日当たりの平均ごみ量（可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ+有害ごみ）

※3 家庭から排出されるごみと、柳泉園組合へ搬入されるごみ量の合計（家庭ごみ+自己搬入可燃ごみ）

※4 一般廃棄物の総排出量に対する、回収された資源の量の割合（分別回収資源物排出量+集団回収資源物排出量）／（資源ごみ排出量+ごみ排出量）

家庭ごみ原単位とごみ排出量は減少しています。また、資源物では有用金属の売払いや生ごみ及び剪定枝無料回収による堆肥化を実施しており、生ごみ回収250世帯、剪定枝500tを回収し、資源化の推進に取り組んでいます。



基本方針3**安全・安心で快適な生活環境の確保を進めます**

安全・安心で、快適な生活環境とするために、大気や河川等のモニタリングや交通環境の充実、美しいまちなみの形成、防災対策の推進、事業者への働きかけ等を継続的に実施します。

また、バリアフリー化を進め、子どもから高齢者まですべての世代に配慮されたまちづくりを進めます。

環境指標	平成35年度目標	平成27年度実績	平成26年度実績	担当課
大気 の環境基準 の達成状況	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	環境保全課
河川の水質 の環境基準 の達成状況	環境基準以下を維持 (BOD 5mg/L 以下) (石神井川溜漕橋)	BOD 0.9mg/L	BOD 0.7mg/L	
自動車騒音 の環境基準 の達成状況	昼間 100% 夜間 100%	昼間 98% 夜間 95%	昼間 98% 夜間 93%	

二酸化窒素、浮遊粒子状物質の濃度は、測定地点全てで環境基準を下回り、目標を達成しています。

光化学オキシダントについては、平成27年度は、注意報(0.12ppm以上)が3回、学校情報(0.10ppm以上)が11回発令され、環境基準を達成できませんでした。



基本方針4 地球温暖化対策を進めます

地球温暖化対策を進めるために、省エネルギーの取り組みや再生可能エネルギーの導入利用、二酸化炭素吸収源としてのみどりの保全や再生等を率先して取り組みます。また、市民や事業者の自主的な取り組みを後押しし、市民・事業者・行政が一体となった取組を進め、低炭素社会の実現を目指します。一方、避けることが困難であると予想される地球温暖化の影響については、適応するための取組を進めます。

環境指標	平成 35 年度 目標	平成 27 年度 実績	前年度比	平成 26 年度 実績	担当課
市内のエネルギー 使用量	電気 579GWh/年	電気 601GWh	電気 ▲2.0%	電気 613GWh	環境保全課
	ガス 4,154 万m ³	ガス 4,290 万m ³	ガス ▲3.7%	ガス 4,448 万m ³	
住宅用太陽 光発電設備 の設置数 ^{※1}	1,300 軒	1,383 軒	105 軒 7.6%	1,278 軒	環境保全課
市内の環境マ ネジメントシ ステム認証取 得の事業者数 ^{※2}	50 社	26 社	5 社 ▲19%	31 社	環境保全課

※1 電力会社と売電契約を行っている軒数（東京電力資料）

※2 ISO14001、エコアクション21、エコステージ及びグリーン経営認証等の認証・登録を行っている事業者数

市内のエネルギー使用量は、電気、ガスともに前年度よりも減少しています。

住宅用太陽光発電設備の設置数は、前年度よりさらに増加し、目標値を達成しました。

市内の環境マネジメントシステム認証取得の事業者数は、ISO14001、エコアクション21、エコステージ及びグリーン経営認証等の認証・登録を行っている事業者数です。平成27年度は平成26年度より5社減少しましたが、今後も事業者の環境意識を高めるために、環境マネジメントシステムの導入を進めます。

基本方針5

環境意識の醸成・協働の仕組みづくりを進めます

環境の将来像「自然とのふれあいを皆で大切に育む、すごしやすい安心なまち西東京」を実現するために、市民や事業者が環境保全活動に参加しやすい環境の提供や環境保全に関する様々な活動の推進、参加の機会や情報交換、コミュニティの場の拡充、環境分野に関わる様々な人材の活用を目指します。

環境指標	平成35年度 目標	平成27年度 実績	前年度比	平成26年度 実績	担当課
環境学習 事業数	140 事業	144 事業	6 事業 4.2%	138 事業	環境保全課 ほか
環境学習講座 への参加者数	1,500 人	1,828 人	281 人 15.4%	1,547 人	環境保全課 ほか
地域での環境 保全活動に 参加したこと のある 市民の割合	10%	6% ※24年度	—	6% ※24年度	環境保全課

環境学習事業数は、参加型体験型の事業やイベントなどを各部署で実施しています。

主 催	内 容
みどり公園課 (4回)	・自然観察会 ・みどりの散策路めぐり (3回)



自然観察会



みどりの散策路めぐり

主 催	内 容
環境保全課 (119回)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境フェスティバル ・エコ・クッキング (一般向け4回、派遣講座として小学校4校4回、中学校1校6回) ・大気の簡易測定体験講座(6月・12月) ・エコプラザ西東京主催事業(77回) ・夏休みエコあそび(25回)



環境にやさしいあかり作り講座



親子でエコ・クッキング

環境学習講座への参加者数は、エコプラザ西東京で開催している環境学習講座の参加者数です。エコプラザ西東京での講座は、年間で38講座(77回)開催し、子どもから大人まで幅広い世代の方が参加しました。



主 催	内 容
ごみ減量推進課 (15回)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内一斉清掃(5月・9月) ・りさいくる市(8回) ・ポイ捨て・路上喫煙防止キャンペーン(5回)



りさいくる市



ポイ捨て・路上喫煙防止キャンペーン

主催	内容
公民館（46回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業を知る講座（谷戸公民館・42回） ・ 市民企画事業 「夏休み親子自然観察会」ほか3講座



農業を知る講座



環境フェスティバル

5月31日に西東京いこいの森公園で開催しました。

セグウェイの試乗会を行い、体重移動だけで動く乗り物を多くの方が体験し、環境にやさしい乗り物を紹介しました。その他にもガスや水道の地球にやさしい使い方のクイズや燃料電池自動車の展示、植物にふれるミニ講座など、多くの市民の方々に楽しく環境について考えるイベントとなりました。



7.市の事務事業による温室効果ガス削減の取り組み

7-1 エネルギーに関する取組状況

西東京市では、平成20年3月に「西東京市環境配慮行動の指針」を策定し、地球温暖化対策のために職員が取り組むべき具体的な行動計画を設定し、全庁的に取り組んでいます。さらに、各課・各施設においても環境目標を定め、環境負荷の削減、環境保全活動の実践に努めています。

取組内容は、「環境配慮行動チェックリスト」に基づき、各課で該当する項目について達成状況を「環境活動実績評価表」「環境活動実績中間報告書」で確認しています。

以下は、市の事務事業により使用されたエネルギーや廃棄物削減の取組状況です。

① 温室効果ガス（対象：全ての公共施設及び公用車からの排出量）

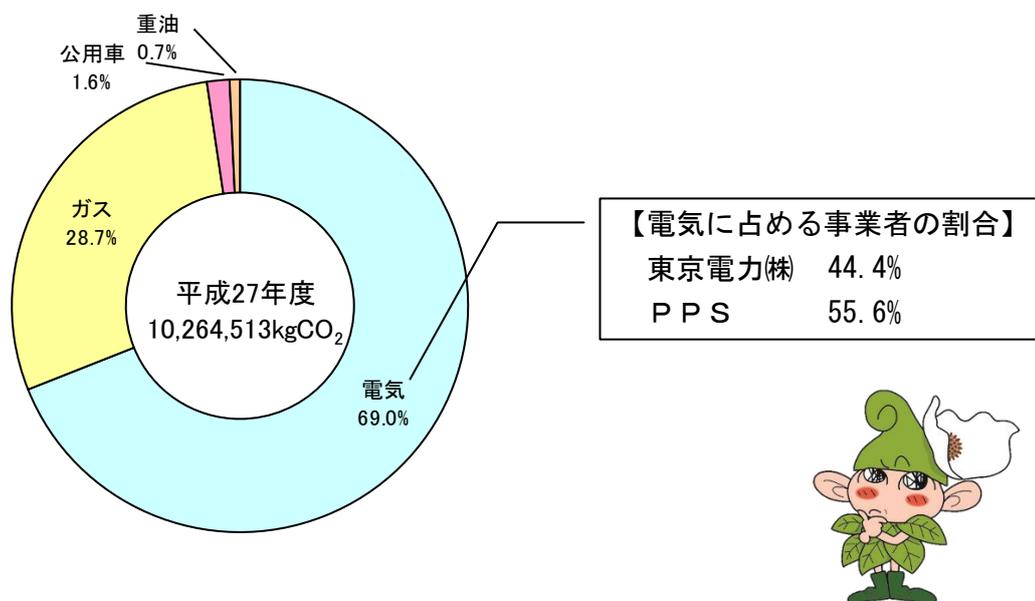
	26年度実績値	27年度実績値	増減比
CO ₂ 換算総排出量	10,463,038kg CO ₂	10,264,513kg CO ₂	▲1.9%

(エネルギー別内訳)

種別		26年度実績値	27年度実績値	増減比
施設	電気起源 CO ₂	7,221,728kg CO ₂	7,079,276kg CO ₂	▲2.0%
	A重油起源 CO ₂	84,963kg CO ₂	74,645kg CO ₂	▲12.1%
	LPG起源 CO ₂	3kg CO ₂	0kg CO ₂	▲100%
	都市ガス起源 CO ₂	2,977,465kg CO ₂	2,946,648kg CO ₂	▲1.0%
	軽油起源 CO ₂	86kg CO ₂	0kg CO ₂	▲100%
	合計	10,284,245kg CO ₂	10,100,569kg CO ₂	▲1.8%
公用車	ガソリン起源 CO ₂	81,937kg CO ₂	77,707kg CO ₂	▲5.2%
	軽油起源 CO ₂	59,791kg CO ₂	69,994kg CO ₂	17.1%
	天然ガス起源 CO ₂	34,395kg CO ₂	14,377kg CO ₂	▲58.2%
	電気起源 CO ₂	115kg CO ₂	202kg CO ₂	75.6%
	冷媒起源 HFC	2,555kg CO ₂	1,664kg CO ₂	▲34.9%
	合計	178,793kg CO ₂	163,944kg CO ₂	▲16.4%

全ての公共施設及び公用車のエネルギー使用状況は前年度より約2%減少しています。これは、全排出量の69パーセントを占める施設の電気起源CO₂が2%減少したことが大きな要因と考えられます。

全ての公共施設及び公用車からの排出量



〔施設〕

使用量は前年度より1.8%減少しました。

電気については、各施設での節電や不要な場所の消灯に心掛けるとともに、公園灯のLED化や街路灯の省エネ化、施設設備の省エネ機器への更新などを進めています。平成27年度は、PPS（東京電力など一般電気事業者とは別の特定規模電気事業者で、契約電力が50kW以上の需要家に対して一般電気事業者が有する電線路を通じて電力供給を行う事業者）からの電気を活用した施設が約56%もあり、電気起源CO₂の削減に大きく寄与しているといえます。

都市ガスの使用量については、前年度並みです。また、重油の使用量は減少し、軽油の使用量はゼロになりました。



〔公用車〕

公用車を使用する際は、エコドライブを心がけ燃費の良い運転をしています。また、近場の移動には、自転車の利用を推進しています。

購入量は、前年度と比べてガソリンは約5%減少しました。また、天然ガスは大幅な減車（13台のうち6台を廃車）をした影響で、約58%減少しました。

一方、軽油は清掃車など実質4台増車の影響などで、約17%増加しました。また、電気（2台所有）は約76%増加しましたが、逆にその利用が進んでいるともいえます。また、ハイブリッド車や軽自動車も優先的に利用しています。



② 水道使用量（対象：小・中学校を含む全公共施設の上水道使用量）

26年度実績値	27年度実績値	基準年度比
338,894m ³	343,281m ³	1.3%

庁舎や公共施設では、節水の協力を呼びかけています。

また、プールやお風呂などでは適正な水の利用を心がけています。



③ 廃棄物排出量（対象：小・中学校を含む全公共施設）

種別	26年度実績値	27年度実績値	基準年度比
可燃ごみ	477,500 kg	453,960 kg	▲5.2%
不燃ごみ※	48,160 kg	37,220 kg	▲29.4%

※不燃ごみ：容器プラスチックを含む。

無駄が出ないように事業に取り組み、廃棄物が出た際は、リサイクルやリユースに取り組んだり、ごみの分別を心がけています。

保育園でも小さい時からごみの分別を意識できるようにごみ箱を工夫しています。



④ コピー用紙購入量（田無庁舎・保谷庁舎・公民館・図書館）

26年度実績値	27年度実績値	基準年度比
9,976,130枚	9,707,300枚	▲2.8%

日常業務で、両面コピーや裏紙の利用の徹底や、電子データで共有するなど、紙の使用の削減に取り組めます。



⑤ 封筒購入量（※総務法規課[田無庁舎]、保谷庁舎管理係[保谷庁舎の封筒・再生紙]会計課[田無庁舎の封筒]で把握している持出量）

種別	26年度実績値	27年度実績値	基準年度比
角2	40,084枚	28,500枚	▲40.7%
長3	82,700枚	79,300枚	▲4.3%

不要になった封筒は、庁内文書交換便の袋として再使用しています。

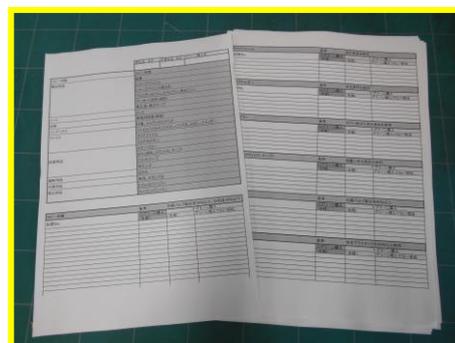


⑥ グリーン購入率

項目	26年度実績値	27年度実績値
対象品目	96.8%	97.5%

平成27年度は、平成26年度よりも購入率が高くなりました。

物品を購入する際はリストで確認し、集計表でグリーン購入率を各課において管理しています。



⑦ 化学物質使用量

薬品の使用量については、購入数量に対して規制をするものではないため、評価はありませんが、各部署において適切に管理、使用しています。

7-2 各課の環境活動

各課・公共施設の取組から特徴的な環境活動を紹介します。

○市の業務での環境負荷の低減の取り組み

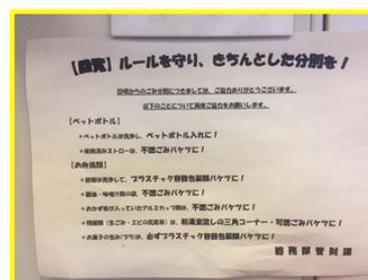
★端末の省エネの推進【情報推進課】

昼休憩時における省エネモードの実施をしています。実施率 24.7% (年平均) です。職員専用システム上において周知を行い、休憩時の省エネモードの実施を図りました。

月初に省エネの周知と部別の実施状況を確認して公表する等の意識喚起を行い、省エネモードの推進を図りました。



★可燃ごみ排出量の削減をしております。【管財課】
可燃ごみ排出量は 16%減となりました。職員掲示板等を使用し、ごみの分別やリサイクルを徹底しました。



★事務の効率化を図っています【市民課】

- ・住民票等自動交付機の活用による窓口の混雑を緩和しました。
- ・住民票：51.2%、印鑑登録証明書：83.8%を自動交付機で交付しました。
- ・申請書類のペーパーレス化を促進し、紙の使用量の大幅な削減につなげました。今後は、平成 28 年度から実施予定のコンビニエンスストアでの住民票等交付に伴い、自動交付機との並行稼働についても検討していきます。



★支出伝票の枚数を削減しています。【会計課】

前年度と比較し、5,013枚の削減を行いました。

支出伝票削減の対象として平成26年度途中に公共料金の支払システムの改修を行いました。平成27年度は年間をとおして削減することができました。

◎地域への環境の保全・創造の取り組み

★広報西東京及びホームページにおいて環境に関する記事を掲載し市民周知を図りました。

【秘書広報課】

9回掲載しました。省エネ月間、夏や冬の節電など季節に合わせた地球温暖化対策や環境フェスティバルやリユース事業のイベントなど市民周知を図りました。

また、ホームページ・SNSを活用し、市報記事の簡素化・効率化を図りました。



★再生可能エネルギーの導入を推進（公共施設での太陽光発電）しました。

【建築営繕課】

消防団第9分団詰所新築工事に伴い太陽光発電設備を導入しました。

公共施設において太陽光発電設備(2.88kW)を導入することができました。その結果、太陽発電設備を持つ施設が、16箇所(最大出力87.7kw)となりました。

★処分期限の近い災害備蓄食料を活用しました。【危機管理室】

462箱を活用（去年は436箱）

処分期限の近い災害備蓄食料を学校給食や市民団体主催の防災訓練等に積極的に活用し、処分量を減らしました。

★エルタックスの利用を推進し、税務事務の効率化を推進しました。【市民税課】
法人市民税のエルタックス申告は 2,821 件。対前年度(2,468 件)比 14.3%増。個人市民税の給
与支払報告書のエルタックス件数は 51,094 件。対前年度(46,271 件)比 10.42%増でした。

★省エネ改修、長期優良住宅に係る固定資産税の減額についての広報活動
【資産税課】

長期優良住宅は 87 件(前年度 117 件)、省エネ改修は 10 件(前年度 9 件)
住宅の窓や床、天井などの断熱性を高める改修工事した場合、固定資産税を減額する制度を
推進したため、省エネ住宅を増やしました。

★ごみの持ち帰りの周知徹底【福社会館（高齢者支援課）・市民会館（文化振興
課）・スポーツ振興課（スポーツ施設）】

・全館において、利用者へのゴミの持ち帰りを周知徹底しました。
・多摩六都リレーマラソン 2015 において、参加者、来場者へのごみの持ち帰りの呼びかけを行
い、ごみゼロを達成しました。【スポーツ振興課（スポーツ施設）】

★園児の環境意識を高める指導【けやき保育園】

「ごみの分別・リサイクル」についての集会を設けたり、ごみ減量推進課に出前講座を依頼
して「ごみのゆくえ教室」を開催しました。

ごみ分別の必要性やリサイクルの大切さを身近に感じるようになり、ごみについての関心が高
まりました。古紙やトイレtpーパー・ペットボトルが衣類等に再生されることを知る機会にな
りました。

★植物の育成【保育園（保育課）】

畑やプランターで野菜や植物を育てながら、園内の緑化が二酸化
炭素削減や温度調節になることを学びました。

さらに、園庭の落ち葉を堆肥化し、その土を使いトマト、きゅうり、
ナス、枝豆などの野菜を育て、収穫して、子どもたちの給食など
に提供しました。



★日よけシートやミストシャワーの活用・節水【保育園(保育課)】

遮光ネットを設置して日差しを遮り、エアコンを効率よく使用しています。ミストシャワーをベランダの軒下に設置して気温の上昇を防いだり、プールの水を簡易スプリンクラーを使って園庭の散水に再利用しています。日常生活の中で暑さ対策と水の再利用を子どもが見聞し、環境への意識を高めるよう配慮しています。日よけシートやミストシャワーは、数年前に一つの保育園で始めた取り組みが波及し、今では多くの保育園で取り組んでいます。前年同様、ため水で牛乳瓶を洗ったり、手洗いや歯磨きの時に水を出したままにしないなど、水を大切に使うことを伝えています。



★子ども服の再利用【保育園(保育課)】

不要な子どもの衣服を置ける専用のスペースを設置し、子ども衣料のリサイクルを推進しています。

保護者からは好評であり、職員、保護者、園児が環境を大切にする意識を一層持ちました。季節を問わず持ち込みがあり、品物を時々入れ替えるなどの工夫により、多くの方が利用されています。



★エコ活動【児童館(児童青少年課)】

- ・マイ食器を持参するイベントや夏休みのリサイクル工作などを実施しました。
- ・夏祭りでは、エコステーションを設けてごみの分別意識を高めました。
- ・電気・ガス・水道の使用量の削減をしました。

★エコキャップ回収・クリーンウォーク・エコカー使用とアイドリングストップ
【スポーツ施設（スポーツ振興課）】

エコキャップ回収については家から持参して回収に協力してくれる利用者が多いです。

★体験型農園事業の取り組みの推進

【産業振興課】

「農のアカデミー」64回実施、述べ2,100人参加
（平成26年度は55回実施、延べ2,000人参加）
市民が農業にふれ、農業を理解するための農業
体験の場となりました。

「親子で野菜づくりにチャレンジ」では、だいこん
とかぶの作付・収穫を体験し、西東京市の農業や
農産物のことを学びました。

冬場の活動日を増やすなど、年間を通して活動できるようにスケジュールを組むことで、前
年度に比べて実施回数、参加人数を増やすことができました。



★公園灯灯具をLED灯具に交換及び新設

【みどり公園課】

3公園をLED灯具に取り替え、1公園に新設しました。



★家庭からでる「剪定枝・草・落ち葉」を資源・堆肥化【ごみ減量推進課】
年間 500tを資源・堆肥化（前年度は年間 350t）しています。

剪定枝・草・落ち葉を焼却せず、破碎・チップ化し、バイオマス発電所の燃料や家畜の敷料、肥料原料などにリサイクルされています。



★太陽光発電システム設置費を助成しています【環境保全課】

環境にできるだけ負荷を与えないまちづくりを目指し、住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部を助成しています。

平成 21 年度から実施して、平成 27 年度は 64 件助成しました。



杉の木
6,800 本分の吸収量！

二酸化炭素 95,194kgCO₂
削減！

★都内初となる ESCO 事業で街路灯 LED 化

【道路管理課】

11,400 灯を交換しました。



★グリーンカーテンの実施

【住吉会館(子ども家庭支援センター)・スポーツ施設／総合体育館(スポーツ振興課)・小中学校(学校運営課)・保育園(保育課)・児童館(児童青少年課)・公民館(事業係)など】

・グリーンカーテンは室内の体感温度に違いがみられています。【スポーツ施設(スポーツ振興課)】

・ゴーヤのカーテンは、校舎を広く覆うほど育ちました。みどり豊かな潤いのある空間をつくることで、子どもたちの自然環境への関心を高めています。

【小中学校(学校運営課)】

・2F のどか広場南側窓を覆うようにゴーヤ及びメロンでグリーンカーテンを育てました。

・メロンのグリーンカーテンは珍しく、広場利用者には好評でした。また、実際に実がなっているのを見て、自宅でも作りたいという声もありました。【住吉会館(子ども家庭支援センター)】



★校庭の芝生化の推進【小中学校（学校運営課）】

校庭の芝生化では、緑豊かな潤いのある空間をつくることで児童の自然環境への関心を高めています。また、校庭利用団体の協力を得て共に芝生の整備をしている学校もあります。



★利用者に対してポスター、チラシの掲示と配布及び省エネ協力の理解、協力を伝える機会を継続的に実施【公民館】

★環境関連の展示【図書館】

「環境問題」に関連する図書を展示し利用に供しました。



7-3 職員研修

時間的制約を受けず、効果的に行うことができるeラーニングプログラムによる環境に関する四択問題形式の研修を全職員、嘱託員を対象に実施しました。職場で実践できる省エネのポイントや環境マネジメントシステムの知識理解の問題などが出題されました。



職員研修の一環として、内部環境監査を実施しています。内部環境監査員に任命された職員が他の部署の環境に関する取り組みを監査しています。

7-4 環境コミュニケーション

西東京市で行った大気や騒音などの環境調査の結果をホームページや事務報告書で公表しています。

また、平成27年度において、市域にて発生した住民からの環境苦情は下記のとおりです。苦情の件数は年度によって変動はあるものの概ね横ばいとなっています。建設・解体工事に関する騒音や、野焼きによるばい煙（大気）などの苦情が多く寄せられています。良好な生活環境の確保のためにも、適切な指導を行っていきます。

環境苦情受付件数

現象別	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
大気	9	21	23	24	25
水質	0	0	0	2	0
騒音	27	34	31	35	33
振動	3	7	2	3	4
悪臭	13	11	7	12	12
土壌	0	1	0	1	0
その他	32	5	6	1	0
合計	84	79	69	78	74

7-5 環境法規制等の遵守状況

西東京市の各事業活動において、環境関連の法規違反及び訴訟、異常事態の発生等はありませんでした。



いこいの森公園に咲く

ハンカチの木の花

花を包むようにしている白いハンカチのような葉状部分の苞が特徴です。苞は、初めは黄緑色で、だんだん大きくなって白くなります。

4月下旬から5月上旬頃にかけて咲く、珍しい木です。

市のマスコットキャラクター「いこいな」の帽子にも付いていますよ。



7-6 市長による全体評価及び見直し

1 全体の評価

(1) 事務事業に即した環境配慮行動の実践

環境マネジメントシステムの運用により、各課・各施設に取組みが浸透していると思われる。また、職員の創意工夫により事務事業に即した環境目標を掲げ、環境配慮行動の実践を行っていることは評価できる。

(2) 環境法規制の遵守

市の事務事業を行うにあたり、環境法規制を遵守することは当然であるが、普段からその意識を持って職務を遂行する必要がある。その手段として、環境活動実績報告書や職員研修において、法規制の確認と手順を実施していることは評価できる。また、職員研修において法規制の確認と手順について実施し、スキルの向上に寄与したことは評価できる。

(3) 小・中学校での環境への取り組み

市の環境マネジメントの取り組みのほか、学校独自の環境への取り組みも多く認められ、その効果が上がっていることは大いに評価できる。しかし、学校現場から排出される温室効果ガスの割合が依然として高いことから、今後も削減に向けた継続的な取り組みが必要である。

2 今後の取り組み

(1) 環境配慮行動の推進には、職員の環境意識の向上が不可欠であることから、引き続きeラーニング研修、庁内Web等による情報提供の充実に努めること。また、内部環境監査で指摘された改善事項については、各部署で十分な検証と検討を行い確実に改善すること。

(2) 市域から排出される温室効果ガスを削減するため、「西東京市地球温暖化対策地域推進計画」及び「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」を推進すること。また、温室効果ガスの削減効果が高い再生可能エネルギー設備を公共施設に導入するとともに、市民等に対する温室効果ガス削減のための支援策を新たに構築すること。

(3) 「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（後期計画）」の実施にあたっては、これまでの取り組みを検証するとともに、温室効果ガスの削減のため、エネルギー起源二酸化炭素削減を推進するための管理システムの効果と課題についても検証すること。



西東京市環境白書・環境活動レポート

平成27年度（平成27年4月～平成28年3月）

発行：西東京市 平成28年12月

編集：西東京市みどり環境部環境保全課

〒202-0011

東京都西東京市泉町3-1 2-3 5エコプラザ西東京

TEL：042-438-4042（直通）

FAX：042-421-5410